

天を仰ぐ俺。

その後ろには、いつの間にか山田がいた。

C 225名前：以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします投稿日：2006/05/21(日) 20:25:04.61 q8XsvmBf0
山田今度はなにをw w w w w w w w w w

C 237名前：以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします投稿日：2006/05/21(日) 20:25:08.58 fw8Y/BiN0
山田ktr

C 277名前：以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします投稿日：2006/05/21(日) 20:25:22.93 4qCjileg0
ちょw w w w w millkyw w w w w w w w
またおまえかw w w w w w w w w w

C 282名前：以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします投稿日：2006/05/21(日) 20:25:23.89 5pduxWp00
山田は「罨の橋懐かしいなぁ」とか言いながら、何事もなかったかのように席に戻った。

だが俺達は気づくべきだったのだ。
彼の目の色が、狂気を帯びたそれへと変化していたことを。